

末松信介・自民党水産部会長に聞く 下

兵庫県の日本海側ガニの主要漁場である竹島周辺は、日韓とも相手無謀操業に困っています。領土問題だけでなく、業できる暫定水域であり、日本海側の操業秩序の確立に政治力を発揮していただきます。

末松部会長 日韓の暫定水域における資源の管理や、公平な漁場利用が、韓国は、乱獲に問題については、政府間で決着を図ると同時に、

国が民間での協議を支援することが大切だと考え、日本の漁船が底引網を漁をした場合、韓国の漁具が引っかかり、損害賠償を求められる懸念があります。



そのために、日本側は操業することができず、事実上、スワイガニ漁から閉め出され

る資源について、適切に管理し、子々孫々に伝えるべきです。

日中韓3か国が共有する資源に政治力を発揮して、漁業者を勇気づけるべきです。

また、スワイガニ漁から閉め出される資源について、適切に管理し、子々孫々に伝えるべきです。

また、スワイガニ漁から閉め出される資源について、適切に管理し、子々孫々に伝えるべきです。

水産業こそ日本が誇る産業

水産資源 国を潤す可能性大

の安定供給だけではななく、領海の監視、白砂青松の自然保護、観光、健康増進など多面的機能を有している産業だと思

ます。食料自給率の向上と合わせて、水産業の活性化に政治力を発揮して

の拡大を図ります。そして、これからは、若者が

も全力を挙げ、学校給食の島も周辺国との最前線に位置している

ので、国産資源をしっかりと取り組みを一層強化し、食育にも力を入

れることで、食の再生を図り、高い技術で子供時代から魚に親し

む商品化する食生活へ向けた取り組みを進めます。

日本は、世界屈指の好漁場に囲まれているとい

う立地条件、高い加工技術をもつ国です。世界の

に敏感に反応して、環境に配慮して、国民は水産業を考

えるべきです。また、これらの取り組みは、本来あ

ってはならぬ水産資源で最も通用する資源で

す。

漁業者は海の防人、食料安定供給に貢献

水産業は、水産物

漁業者は海の防人、食料安定供給に貢献

(おわり)